

2021年度 事業計画

- 基本方針： 1) 事業の項目・内容・規模及び予算は、原則2020年度計画に準じる
2) 新型コロナウイルス感染状況により、開催方法と時期は2ヶ月程度前に決定する

- (1) 研究会 ナノサイエンス・テクノロジー分野における新しい研究コンセプトの創造
- ①研究会活動 第10期(2021-2023) 5研究会の初年度の活動を行う (詳細は次頁に記載)
各研究会 2~3回開催/年、内原則 1回は合宿とする
界面ナノ科学研究会 委員長 柴田 直哉 (東京大学 教授)
スピントロニクス研究会 委員長 齊藤 英治 (東京大学 教授)
ナノカーボン研究会 委員長 丸山 茂夫 (東京大学大学院 教授)
ナノメカニクス研究会 委員長 都甲 潔 (九州大学 特別主幹教授)
バイオナノ研究会 委員長 渡辺 力也 (理化学研究所主任研究員)
将来の新研究分野の検討をするために懇話会などを開催する
バイタルセンシングを含むナノセンシング、などの分野を検討していく
- ②研究報告会 研究会活動の報告及び研究会員の幅広い交流を図る
第27回を7月上旬頃に開催する
- ③国際フォーラム 研究会における成果の国際的な発信の為、共催、協賛等を行う
原則 2件/年 × 30万円/件
2021年度：現時点では予定なし(新型コロナの為に2件延期された)
2022年度：①Neutrons and Food 6 東京 (2021⇒2022/6)
②29th International Conference on Low Temperature Physics
札幌 (2020⇒2022/8)
③A3 Symposium on Emerging Materials: Nanomaterials for
Electronics, Energy and Environment 仙台 (2021⇒2022/11)
- ④合同研究会 適時開催する
- (2) 研究助成 新世代の科学技術研究を担う人材の育成
- ①研究助成金 萌芽的・独創的、新しい研究領域を切り開く可能性のある研究への研究費助成
助成金額：500万円(100万円/件 × 5件)
対象期間：2021年10月~2022年9月
概略日程：募集 5月~6月、審査 7~8月、選考委員会 8月下旬、決定 9月中旬
- ②奨励賞 研究助成を受け優れた成果をだした研究の顕彰
対象者：過去5年に採択された研究助成者
概略日程：募集 10月~12月、審査 1月~2月、決定3月
授与式：2022年度研究助成成果発表会にて
副賞=トロフィー、セイコー高級腕時計、顕彰金10万円
- ③成果発表会 助成研究成果の報告及び異分野・世代間の議論・交流
開催時期：5月頃
参集者：助成期間終了報告者、新規採択者、奨励賞受賞者、財団関係者
- (3) 公開フォーラム 最新の科学技術や社会文化の話題を広く一般に提供する
第44回を秋季に開催
- ※ 刊行書 公益目的事業活動成果の公開・発信
① 研究報告書 2020年度の研究会活動報告 7月発行予定
② ATI 公開フォーラム講演録 2月発行予定
③ ATI ニュース 4月及び10月発行予定